

資格・検定
に挑戦

高校生初の快挙! 日本農業技術検定1級に合格

先輩に
質問!



日本農業技術検定1級に
挑戦した理由は?

自分の知識を増やすため、そして、スキルアップをめざすために挑戦しました。高校2年生で2級を取得した後、高校生のうちに知識を身につけ、大学生活や将来の夢に活かしていきたいと思うようになりました。

私は食品科学科で3年間、パンやお菓子の製造を学びました。その授業のなかで先生が「資格を取得することは、自分のスキルアップにつながる」「より高い目標をめざすことは、人生のなかでもとても大切」と教えてくださいました。実際に先生は50歳を過ぎた今でもプロからパンやお菓子の製造技術を学び、毎日元気に厳しく、そして楽しく私たちに指導してくれます。先生のように一つひとつスキルアップしていこうと思ったことが、私が1級に挑戦した大きなきっかけです。

受験に向けて
取り組んだ学習法は?

共通問題・選択科目の「食品」は、過去問題を解き、わからなかった用語をインターネットで一つひとつ調べ、書き出していきました。

努力した点は、登下校の移動時間や休み時間、放課後などの空いている時間のすべてを勉強にあてたことです。また、わからなかった問題は先生方に質問し、納得するまで教えてもらいました。

工夫した点は、さまざまな用語を調べながら「それってどういうこと?」と家族や先生方と深く話し合い、問題に書かれていないことも含めて覚えたことです。1級の問題では、農業につながる今の日本の経済についても広く問われます。農業に関するニュースや新聞を見ておくことも、学習法のひとつです。

また、私は、平成27年度農業クラブ全国大会の農業鑑定競技会に学校代表として出場したものの、結果を出せず悔しい思いをしました。しかし、そこで学んだことが検定の勉強をするにあたって大きな力となりました。

毎日の積み重ねが
格につながりました!

静岡県立田方農業高校
食品科学科 食品加工コース
岩崎 朱子さんの場合

これから資格取得をめざす
農業クラブ員へのアドバイスは?

私から、3つのアドバイスを送ります。

1つ目は、専門教科の授業や実習をしっかり受けること。特に選択問題は普段の授業から学ぶことが多くありました。1年生のうちから意識して取り組むことが大切だと思います。

2つ目は、過去問題などを繰り返し解いて、わからない分野を明確にし、理解できるまで本を読んだり聞いたりして調べること。こうすることで、同じ問題や何度も間違えていること、出題傾向、自分の得意分野など、さまざまなことが見えてきます。ここまでたどり着いたら、あとは自分の苦手なところを克服するのみです。

3つ目は、先生や仲間の存在を忘れな

いこと。私は決して一人で勉強しているわけではありませんでした。忙しいなか、親身になって教えてくださった先生方、同じ検定を受けるために勉強していた仲間、勉強している私のそばで静かに見守りながら励ましてくれた仲間……。みんなの存在がなければ、私はがんばること、1級取得もできなかったと思います。心から感謝しています。

これらのアドバイスは、他の資格や検定を受ける際にも言えることです。私は、この日本農業技術検定1級を取得することができて本当によかったです。勉強中は何度も「もうだめだ」と、あきらめそうになりました。しかし、がんばった分、合格したときの喜びはとても大きかったです。これから資格や検定を受検する人たちにも、この喜びを感じてほしいです。

